

令和8年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ6

認知症高齢者の徘徊時における早期発見・迅速な捜索を支援する位置・行動検知技術

1. 解決したい課題の内容

・今後、認知症高齢者は増加が見込まれ、行き先や帰り道が分からないまま歩き回ったり、普段とは違う時間に外出したりして戻れなくなる「徘徊」は生命・安全に関わる重大リスクであり、家族や介護者の精神的・時間的な負担も大きい。

・袋井市では「あんしん見守りシール（QRコードシール）」を導入している（原則自己負担なし）が、まだまだ認知度が低い状況である。そして、当仕組みでは、徘徊している本人について、誰かがQRコードを読み込んで発信してくれないと保護に至らない。

GPS やスマートフォンに頼る方法はピンポイントで現在位置や移動情報が把握できて有効であるが、端末費用や月々の通信費などの経済的問題や、端末操作が難しくスマートフォン等を所有していない高齢者も多い。また、充電忘れや電波の届かない山間部などの環境、端末紛失や着用拒否など、経済的・運用上の課題により利用できない場合も多い。そのため、ICT に不慣れな高齢者が利用できる端末操作の簡便さや、購入後のフォローアップを含めた支援が求められている。

・加えて、着用を前提としない非接触・センサー等の手段も選択肢に含めた多様な技術の検討が必要である。

・認知症の人を支援の対象として排除せず、共生社会の実現に向けて、尊厳や主体性を重視した見守りの在り方を模索していく。

2. 実現したい目標について

- ・装着・操作が容易なデバイスで、徘徊発生時に家族や見守り者へ確実に通知できる
- ・日常の連続追跡は原則行わず、異常時のみ位置情報などが共有できる
- ・装着を拒む人でも適用可能な非接触・センサー等の手段を確認する
- ・徘徊発生から捜索開始までの時間が短縮できる

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・装着・操作が容易な高齢者向けの位置・行動探知技術
- ・装着を拒む人でも適用可能な位置・行動探知技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

- ・はいかい SOS ネットワーク事業の登録者であって希望する者を対象とし、

実際に機器を使用していただく。

- ・ ご家族や支援者にアンケート調査を行い有用性を確認する。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・ はいかい SOS ネットワーク事業／袋井市

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/10/1003/ninchisyou/1422533219268.html>